

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 令和 6 年 4 月 24 日 (2024.4.24)

【国際公開番号】 WO2023/013404
【出願番号】 特願 2023-540234 (P2023-540234)
【国際特許分類】

C 08 J 5/18 (2006.01)
B 32 B 27/20 (2006.01)
B 32 B 27/30 (2006.01)
B 32 B 7/023 (2019.01)
B 32 B 27/00 (2006.01)

10

【F I】

C 08 J 5/18	C E Y
B 32 B 27/20	Z
B 32 B 27/30	A
B 32 B 27/30	D
B 32 B 7/023	
B 32 B 27/00	E

20

【手続補正書】

【提出日】 令和 6 年 1 月 30 日 (2024.1.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

架橋（メタ）アクリル酸エステル系樹脂粒子を含有し、メタクリル酸エステル系樹脂を主成分とするフィルムであって、

30

前記架橋（メタ）アクリル酸エステル系樹脂粒子は、前記フィルムの平均厚みに対して 1 % 以上 10 % 以下の平均粒子径を有し、

前記フィルムはフッ化ビニリデン系樹脂を含有せず、

前記フィルムの J I S K 7 1 3 6 : 2 0 0 0 に基づいて測定されるヘーズが 5 % 以下であり、

前記フィルムの下記式から算出されるクラリティ（C L R）が 97 % 以上である、
前記フィルム。

$$C L R = 100 \times (I c - I r) / (I c + I r)$$

ここで、I c は、前記フィルムを透過した光のうち、前記フィルムの表面に対して垂直に入射した平行光の光軸に対して直進する光の光量、I r は平行光の光軸に対する角度が ± 2.5 ° 以内である狭角散乱光の光量を表す。

40

【請求項 2】

前記メタクリル酸エステル系樹脂 100 質量部に対して、前記架橋（メタ）アクリル酸エステル系樹脂粒子の配合量が 0.1 質量部以上 2 質量部以下である、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載のフィルムと、

前記フィルムの一方向の面に積層されたフッ化ビニリデン系樹脂を含有しているフィルムと、

50

を備える積層フィルムであり、J I S K 7 1 3 6 : 2 0 0 0に基づいて測定されるヘーズが5 %以下であり、クラリティ (C L R) が9 7 %以上であり、J I S Z 8 7 4 1 : 1 9 9 7に基づいて測定されるフッ化ビニリデン系樹脂を含有しているフィルムの外表面側の6 0 ° 鏡面光沢度が1 0 0 以上である、積層フィルム。

【請求項4】

前記フッ化ビニリデン系樹脂を含有しているフィルムは、フッ化ビニリデンとヘキサフルオロプロピレンとの共重合体及びポリフッ化ビニリデンから選択される1 種又は2 種 (A)、並びに、メタクリル酸エステル系樹脂 (B) の合計1 0 0 質量部に対して、(A) を合計で5 0 質量部以上8 0 質量部以下、(B) を2 0 質量部以上5 0 質量部以下含有する、請求項3に記載の積層フィルム。

10

【請求項5】

請求項1若しくは2に記載のフィルムが最表層として積層された金属調加飾フィルム。

【請求項6】

請求項3に記載の積層フィルムがフッ化ビニリデン系樹脂を含有しているフィルムを外側に
にして最表層として積層された金属調加飾フィルム。

20

30

40

50